

①ワークショップ「デーノタメ遺跡を歩いて散策ルートを作ろう!」に参加した皆さん。
②参加者で散策ルートを確認。
③枯れ枝を集めて清掃。
④繁茂する竹を刈る。
⑤清掃が完了し、できあがった散策ルート。
⑥縄文人と同じようにクルミを石で割ってみる。
⑦割った後のクルミ。



デーノタメ縄文の杜 プロジェクト

デーノタメ遺跡を舞台に、体験学習やフィールドリサーチ、縄文の杜の復元作業等のワークショップを開催する市民グループ。8月に発足し、月1程度でイベントを開催予定。

★12月10日(日)8:50にワークショップ

「デーノタメ遺跡を歩いて散策ルートをつくろう!」開催!

詳細はコチラ▶



縄文の展示やシンポジウムに行ったことはありましたが、本格的に興味を持ったのは昨年11月にデーノタメの森の落ち葉かきに参加してからです。枯れ木を切ったり、集めた落ち葉を大きなカゴに入れて転がしたりして、みんなと一緒に無心になって作業することで、フィジカルにデーノタメの魅力を体験しました。そこで市役所の文化財

デーノタメの魅力をもっと多くの人に伝えたい



松山 温子さん

北本に引越してきて、このまちの自然の豊かさに驚きました。それから、北本の魅力をYouTubeで発信しています。縄文への興味も、自然の延長にありますね。縄文時代は戦争がなかったとされていますが、土地に執着せず、自然の恵みの中で生きていたからではないでしょうか。

坂本 憲二さん
手をかければ森は応えてくれる



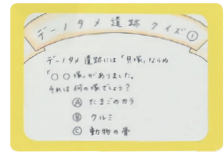
私の密かな野望は、デーノタメ遺跡を「北本トマイメージキャラクターとまちゃん」と同じくらい有名にすること。ゆるく楽しみなながらも、北本のみならず大事に思う場所になったらいいなと思いますね。

担当の方からお聞きした遺跡の解説が衝撃的で、この話をもっと多くの人に知ってもらいたい!と思ったんです。それから、デーノタメのことを調べてクイズ大会をやりました。市民の方が答えを自分の頭で考えてくれたのが嬉しかったです。

〇法人北本雑木林の会や若い人たちもつながり、デーノタメの森の整備に関わるようになりました。落ち葉を集めて堆肥を作ってみたり、繁茂している竹を根から除去する方法を調べていたり、この歳で新しく覚えることがあって楽しいですよ。私は長年模型づくりを続けてきましたが、**自然も同じで、手をかけた分だけ応えてくれる**と思うんです。将来は、子どもたちが縄文の暮らしを体験したり、地域の人が散歩したりできる場所にしたいですね。



坂本さん作の竪穴式住居の模型



松山さんのデーノタメ遺跡クイズ

自然が好きなので、デーノタメの森は**北本最後の「秘境」**として興味がありました。オオタカが営巣する森って本当に貴重なので、縄文や遺跡については詳しくなかつたんですけど、台原縄文音楽祭というイベントが開催されたときに「土器って今でも作ることができそうだ」「この土偶、キャラクターにできそうだな」といろいろな楽しみ方

早野 圭一さん
デーノタメで「縄文時間」を再現したい



があると思います。縄文って面白いなあと。自分は週末に米作りをしているんですけど、デーノタメの縄文人も森を利用して維持しながら暮らす、**里山の考え方を実践していたんです**。機械もない時代に自然を管理するのは途方もない時間がかかったと思います。その**時間こそ生まれたものがあつたんだろうな**。そういう「縄文時間軸」を再現して、縄文人の食とか、土器作りとか、それぞれに縄文を楽しむ人たち「北本縄文人」が増えていったらいいなと思います。



森に繁茂する竹を刈る早野さん

デーノタメにハマる人々

普段は深い森に覆われているデーノタメ遺跡。この地に魅せられ、「縄文の杜」の復元や遺跡の魅力発信を目指すグループ「デーノタメ縄文の杜プロジェクト」の3人に話を聞きました。



近年の北本「縄文」ムーブメント

令和5年11月
デーノタメ遺跡特別展
土器200点や縄文人が食していたとされる植物など、これまでのデーノタメ遺跡の発掘調査の成果を大公開。延べ2,000人が訪れ、大好評の展示となりました。



令和5年5月
デーノタメ遺跡案内ツアー
デーノタメの森で遺跡案内ツアーを開催。市の文化財担当職員の解説とともに、フルミ形土製品や漆塗土器も公開され、市内外から訪れた参加者も大興奮でした。



令和4年11月
デーノタメの森の落ち葉かき
NPO法人北本雑木林の会が中心となって、地権者了解のもと、森の清掃作業を実施。子どもから大人まで約60人が落ち葉を堆肥箱に集めました。



令和3年9月
第0回台原縄文音楽祭
縄文ファンの市民の皆さんが企画して、台原地区で縄文太鼓の演奏や土器づくり等を楽しむイベントを初開催。子どもも大人も体で縄文文化を体験しました。

